

未来構想
水道ビジョン 野田
(経営戦略)

～未来を拓く 暮らしを支える水～

令和2年度～令和16年度



野田市水道部

はじめに

野田市の水道は、江戸川の恵みを受け昭和50年に給水を開始して以来、市勢の発展とともに公衆衛生の向上や生活基盤の改善などに伴って増加する水需要に応えるため、上水道の整備を計画的に進め市民の皆様に清浄にして豊かな水をお届けし、生活と産業を支える社会基盤として重要な役割を果たしてまいりました。

これまで少子・高齢化や景気の低迷などに伴う料金収入の低下、高度経済成長期に整備された施設及び管路の更新に伴う費用の増大、地震など自然災害への対応など、様々な課題に対応するため、平成23年12月に「野田市水道事業長期計画」を策定し、各種施策を進めてまいりました。

しかしながら、策定から8年が経過し、企業・家庭における節水型機器の普及や生活スタイルの変化などに加え、人口減少の影響を受け水需要の減少が進む一方、老朽化に伴う施設・管路等の更新需要の増加速度の高まり、気候変動の顕在化、大規模災害の頻出を始めとする不連続変化へのリスク対応など、水道事業を取り巻く環境は大きく変化してきており、新たな課題への対応が求められています。

このような現状を受けて、将来にわたり市民の皆様へ安全で安心な水道水を安定的に供給し、健全な水道事業運営を持続するため、厚生労働省が平成25年3月に策定した「新水道ビジョン」に示されている長期的な目標である「安全・強靱・持続」を踏まえた見直しを行い、更に「経営戦略」の機能も包含した「**未来構想水道ビジョン 野田（経営戦略）**」を策定しました。

市民の皆様の重要なライフラインである水道事業を将来にわたって安定的に持続させるため、本計画に基づく各種施策の着実な推進に努めるとともに、お客様ニーズに対応した質の高いサービスを提供してまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本水道ビジョンの策定にご尽力いただいた野田市水道事業運営審議会委員の皆様並びにパブリック・コメントを通して貴重なご意見・ご提案をいただいた市民の皆様に心から感謝申し上げます。

令和2年2月
野田市水道事業管理者
齊藤 弘美

目次

第 1 章 策定に当たって	1
1. 1 策定の趣旨	2
1. 2 位置付け	3
1. 3 計画期間	4
第 2 章 水道事業の歩み	5
2. 1 水道事業の沿革	6
2. 2 水道施設の概要	9
第 3 章 水道事業の現状	11
3. 1 事業概要	12
3. 2 水需要の状況	14
3. 3 水源の利用状況	16
3. 4 水質管理の状況	18
3. 5 災害対策の状況	19
3. 6 耐震化の状況	23
3. 7 事業の運営状況	25
3. 8 経営健全化の取組	36
第 4 章 未来へ向けての課題	39
4. 1 水道事業を取り巻く環境	40
4. 2 野田市水道事業における課題	44
第 5 章 野田市水道の目指す将来像	51
5. 1 将来像	52
5. 2 基本目標	53
5. 3 施策体系図	54
第 6 章 基本目標実現のための主要施策	55
6. 1 いつでも水をおいしく飲める【安全】な水道	58
(1) 水質管理体制の強化	60
(2) 適切な水源保全の推進	72
(3) 安全対策の強化	74
(4) 小規模貯水槽水道の適正管理と直結給水方式の普及	76

6. 2	健全かつ安定的な事業運営及び水道サービスの 【持続】可能な水道	80
(1)	短期推進計画による安定経営の推進	82
(2)	経営基盤の強化と業務の効率化	83
(3)	安定水源の確保	94
(4)	水道施設の最適化	96
(5)	お客様サービスの充実	99
(6)	お客様の利便性向上	106
(7)	人材育成と技術力の強化	108
(8)	環境に配慮した事業運営	110
6. 3	災害に強く不測の事態にしなやかに対応できる 【強靱】な水道	114
(1)	水道施設の計画的な整備	116
(2)	基幹施設の耐震化	123
(3)	災害対策	125
(4)	渇水対策の推進	134
第7章 経営戦略		135
7. 1	策定の趣旨	136
7. 2	位置付け	136
7. 3	計画期間	137
7. 4	経営の基本方針	137
7. 5	経営目標の設定	138
7. 6	事業環境	139
7. 7	投資・財政計画	144
第8章 進捗管理		149
8. 1	水道ビジョン 野田の策定に当たっての留意点	150
8. 2	P D C Aサイクルの実施	151
8. 3	進捗状況の公表	152
8. 4	計画の見直し	152
付属資料		153
	用語解説	155



市の木 けやき



市の花 つつじ



市の鳥 ひばり